

## 平成27年7月定例教育委員会会議録

日 時	平成27年7月17日（金） 午後1時30分～午後2時5分
場 所	秦野市役所西庁舎3階会議室
出席委員	委員長 望月 國男 委員長職務代理者 高橋 照江 委員 飯田 文宏 委員 内田 晴久 教育長 内田 賢司
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 水野 和成 生涯学習課課長代理（文化財担当） 霜出 俊浩 教育部参事 鈴木 健次 図書館館長 石井 勇次 教育総務課長 山口 均 教育総務課課長代理（庶務担当） 鈴木 利昭 学校教育課長 片野 新治 教育総務課庶務担当主任主事 水野 統之 教育指導課長兼 教育研究所長 柏木 荘一
傍聴者	4名
会議次第	<p style="text-align: center;"><b>7 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議</b></p> <p>日 時 平成27年7月17日（金） 午後1時30分</p> <p>場 所 秦野市役所西庁舎3階会議室</p> <p style="text-align: center;">次 第</p> <p>1 開 会</p> <p>2 会議録の承認</p> <p>3 教育長報告及び提案</p> <p>（1）平成27年8月の開催行事等について</p> <p>（2）第33回教育研究発表会について</p> <p>（3）市指定重要文化財「鶴巻下部大山灯籠行事」・「瓜生野百八松明・盆踊り」について</p> <p>（4）はだの史・発見展「戦争の記憶」について</p> <p>（5）「寄席の日」・「寄席文字展」について</p> <p>（6）朗読コンサートについて</p> <p>4 その他</p> <p>（1）要望書について</p> <p>（2）教科書展示会アンケートについて</p> <p>（3）第6回親子川柳大会作品募集について</p>

	<p>(4) 第33回子どもの市展作品募集について</p> <p>(5) 第42回親と子の音楽会の出演者募集について</p> <p>(6) 第29回夕暮記念こども短歌大会作品募集について</p> <p>5 閉 会</p>
会議資料	別紙のとおり

望月委員長

それでは、ただいまから7月の定例教育委員会会議を開催いたします。

お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。

まず、会議録の承認について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

なお、秘密会につきましては、同様に、ご意見、ご質問がある場合には、会議終了後、個々に事務局のほうに申し出てください。会議録の承認についてはいかがでしょうか。何かありますか。

—特になし—

望月委員長

それでは、ないようですので、会議録を承認いたします。

「教育長報告及び提案」に移りますが、会議次第に沿いまして、教育長、関係部の報告及び提案をいたしますので、お願いいたします。

教育長

それでは、資料No.1をご覧くださいと思います。「平成27年8月の開催行事等」でございます。

まず、8月1日から3日、2泊3日ですが、広域連携中学生交流洋上体験研修でございます。東海大学の「望星丸」に乗船しまして体験研修を行うということで、今回は、この体験研修に合わせて、1市4町1村の首長等が参加されて、青少年育成のための広域連携について話し合うということで、洋上サミットを8月1日、2日に開催いたします。1日の朝6時45分に西庁舎の前駐車場で出発式を行う予定でございます。今年、乗船の関係は、中井町と二宮町の保健師さんが乗船していただけるという報告を受けております。

8月1日から9日、市制60周年・図書館開館30周年記念の「寄席文字展」というものを実施いたします。これは、後ほど、資料をもって担当課長から説明いたします。

8月4日から30日まで、「はだの市・発見展 戦争の記憶」ということで、桜土手古墳展示館で実施をいたします。

8月6日、7日、1泊2日ですが、平成27年度の新規採用教員の宿泊研修、表丹沢野外活動センターで実施をいたします。

8月9日、これも市制60周年・図書館開館30周年記念とい

うことですが、「寄席の日」ということで、寄席文字についての講演とともに、落語、紙切りなどの伝統芸能に親しむ機会を提供するという予定でございます。

8月11日、25日につきましては、ブックスタート事業、例月開催のものでございます。

裏面をご覧いただきたいと思います。8月12日から2月7日まで、宮永岳彦記念美術館の企画展の入れかえをしまして、今回は「宮永岳彦 いのちの彩り」ということで、さまざまな動物ですとか植物が描かれている作品の展示でございます。

8月14日が8月定例教育委員会会議でございます。

同じく14日、下大槻百八炬火でございます。

同じく、市指定無形民俗文化財瓜生野百八松明、その終了後に行われます瓜生野盆踊り、連続して行われます。

翌15日、「美術館ワクワク体験」ということで、生涯学習課が宮永岳彦記念美術館の会場で「七宝焼アート教室」というものを行います。

18日、火曜日ですが、第2回いじめを考える児童生徒委員会、渋沢公民館で実施をいたします。

19日、平成27年度第3回園長・校長会を予定しております。今回は教頭を対象とした園長・校長会をやります。

19日、第33回教育研究発表会、文化会館の小ホールで実施をいたします。

21日の金曜日はソーシャルスキル研修会、堀川公民館で、教員の指導力向上のため研修を実施いたします。

24日、月曜日ですが、環境教育研修講座ということで、西庁舎の会議室を使いまして、「エコキッズはだの」の実施を踏まえた教職員の環境教育の取り組み、そうしたことを研修いたします。

同じく24日ですが、コミュニティ・スクール研修会、研究実践校の西中学校の教職員、それから、保護者、地域の方などを対象に実施をいたします。

8月29日、平成27年度ふるさと講座「第1回近・現代の秦野史」ということで、保健福祉センターを会場に実施をいたします。

同じく29日の土曜日、朗読コンサートということで、「語りと音楽・花音（かのん）」による朗読コンサートを開催いたします。第8回目でございます。会場は図書館の視聴覚室です。

8月31日は始業式でございます。今回は、ちょうど休みが入ってしまうために、29日から2日ほど遅くなるという状況でござ

教育指導課長

ざいます。

同じく31日に小中幼の防災訓練を実施いたします。

私からは以上でございます。この後、各担当の課長からそれぞれ説明をいたさせます。よろしくお願いいたします。

では、資料No.2をご覧ください。33回目を迎えます教育研究発表会についてでございます。

日時につきましては、ご覧のとおりとなっております。

発表内容ですが、黒いひし形のところですけれども、調査研究ということで、幼小中一貫教育保健体育研究部会から1本、同じく小中一貫教育算数数学研究部会から1本。裏面をご覧ください。自主研究の部から、国際理解教育ということで、英語の部分ですけれども、1本。それから、視聴覚教材の効果的な活用をすることによる保健授業、後小路君につきましては、平成26年度の県優秀授業実践教員として表彰を受けた教員でございます。

子どもを育む中学校区懇談会の部ということで、今年度は北中学校区、北の子どもを育む懇談会の取り組みということで、中学校、小学校、それぞれからテーマの発表がございます。

なお、今年度につきましては、例年どおり、幼小中と同じ程度の参加をお願いしているところでございます。

以上です。

生涯学習課  
課長代理  
(文化財担当)

本日は、佐藤生涯学習課長が15日から県外出張しておりますので、文化財担当の霜出が代理で出席しております。

報告事項の前に、課長からの言づてがございます。7月1日から4日まで開催いたしました、広畑ふれあいプラザで開催したふれあい通学合宿の閉校式におきまして、内田教育長と望月委員長にご出席いただき、参加者への激励などを行っていただきましたこと、御礼申し上げますとのことでございます。

それでは、資料No.3、秦野市指定重要文化財の行事についてご説明いたします。

まず、鶴巻下部大山灯籠行事でございますけれども、これは前回の教育委員会で新たに文化財に指定されたものでございます。この行事は江戸時代から地域で守り伝えられているもので、鶴巻第一自治会館敷地内に、保存会により、7月25日の午後4時から、灯籠とそれを風雨から守る覆屋が組み立てられます。8月18日の午後4時から解体いたしますけれども、灯籠が建てられている7月25日から8月17日の間は毎日、午後6時から2時間程度、灯籠に火がともされます。

次に、資料裏面の「瓜生野百八松明・盆踊り」についてござ

いますけれども、この行事は、権現山の麓、南矢名の瓜生野地域で、江戸時代から、五穀豊穰と悪疫退散を祈願して地域の手で伝承されてきた行事でございます。旧盆の8月14日の午後7時ごろから、保存会の若者たちが権現山から火のついた大松明を担いで麓の龍法寺門前まで下る百八松明行事でございます。8時ごろから、近くの南矢名上部町内会館で瓜生野盆踊りが行われます。百八松明は昭和50年8月に、盆踊りは昭和52年7月に、それぞれ市の重要文化財に指定されております。

引き続き、資料No.4、「はだの史・発見展」についてご説明いたします。

この事業は、桜土手古墳展示館が所蔵する資料の展示を通じて本市の歴史的な過程を紹介するものでございます。今回は、戦後70年目の節目に当たり、改めて戦争の実像を考える機会として、「戦争の記憶」と題し、8月4日から8月30日まで、展示館のミュージアムプロムナードで開催いたします。戦争への道りを年表パネルなどで紹介するとともに、国防婦人会や隣組の活動、国民学校での教育や軍事に関する遊びなどの写真や実物資料を通じて、戦中の女性や子どもたちの暮らしぶりなどを紹介していきます。

生涯学習課からは以上でございます。

図書館長

図書館からは、議題の(5)、(6)についてご説明いたします。

まず、「(5)『寄席の日』・『寄席文字展』について」、資料No.5をご覧くださいければと思います。

今年、市制60周年・図書館開館30周年を記念いたしまして、伝統工芸を紹介したいということで、寄席文字についての展示とそれに伴う講演会を開催いたします。寄席の看板、あるいはビラ、めくりなどは、寄席文字という特殊な文字で、江戸文字とも呼ばれますが、江戸時代中期から、縁起物として盛んに使われております。今回は展示にあわせまして寄席文字についての講演会、実演を実施いたします。

「寄席文字展」につきましては、8月1日の土曜日から8月9日の日曜日まで、午前9時から午後5時まで、図書館の2階会議室で行います。また、「寄席の日」につきましては、最終日になりますが、8月9日の日曜日、午後1時から、図書館視聴覚室におきまして、実際に寄席文字の実演、及び寄席文字の講演について、講師に橋右橋さんをお迎えいたしまして実施いたします。あわせまして、紙切りを林家正楽師匠、また、落語を三遊亭遊吉師

匠をお招きしております。三遊亭遊吉師匠は、チラシの裏面にありますような伊勢原市出身の方ですが、秦野高校出身、國學院大學卒業ということで、本市でも縁がありまして、今回実施することができました。

なお、募集につきましては7月1日の広報でお知らせいたしまして、おかげさまで定員にすることができました。

続きまして、資料No.6、「朗読コンサートについて」、ご説明いたします。

朗読コンサートは、大人から子どもまで、幅広い世代に語りと音楽で読書の楽しさを伝えるということ目的に、今年度で8回目を迎えます。参加いただきます方は「花音」というグループになります。女性3人のグループです。今回は、エッセイストであり、絵本作家でもあります佐野洋子さんの作品を、「語りと音楽」で朗読をお届けいたします。

内容は、絵本「100万回生きたねこ」、童話「はしか」、エッセイ「ありがたい」、この3つを中心に実施いたします。

日時は、8月29日、日曜日、午後2時から3時半になります。より多くの方に参加いただければと思います。

なお、裏面に昨年度までの実績を載せております。昨年度は「まどみちおの世界」、25年度は「宮沢賢治の世界」、平成24年度は寺村輝夫さんの「ぼくは王様」について、その都度テーマに合わせて実施しております。

図書館からは以上です。

ありがとうございました。

それでは、「教育長報告及び提案」については、今日はふだんの半分ぐらいですね。(1)から(6)まであるのですが、一括して、ご質問、ご意見等をいただきたいと思っております。

最初の教育長報告の中の広域連携の洋上体験研修なんですけど、最終的な参加人数がもしわかったら教えていただきたいのですけど。

確認して後ほど報告します。

ほかにどうでしょうか。

8月31日の防災訓練についてですが、各小中あるいは幼稚園で予定されているということなのですが、具体的にどのようなことをやられるのかということと、もう一点は、最近、箱根の大涌谷の水蒸気爆発等もあって、場合によっては日本列島全体として火山の活性化といった状況もあって、ひょっとすると富士山の爆発というようなことも言われているかもしれないんですけど

望月委員長

飯田委員

教育長

望月委員長

内田委員

教育総務課長	<p>も、そういった場合の、万が一ということですのでけれども、大きな自然災害が起きた場合への対応状況といったものがあれば、教えていただきたいと思います。</p>
望月委員長	<p>まず8月31日の防災訓練でございます。例年、年2回ということで、6月に保護者も入っていただいて引き取りの訓練を、先月ですか、実績のご報告をさせていただきました。それは保護者に全部引き取りに来ていただく。今回は、その引き取りはございませんで、学校内で、まずシェイクアウトを含めて、発災したときにどういう行動をとったらいのかという訓練。それと、最終的には各学校で集合して、通常は引き取りになりますけれども、引き取りの前までの内容の訓練をやっていくというものでございます。</p>
飯田委員	<p>箱根ですとか噴火の関係は、各学校ごとに地震ですとか大規模災害ですとかの対応マニュアルをつくっております。それに沿って対応するような形を秦野ではとっております。</p>
<p>教育指導課長 飯田委員 望月委員長 生涯学習課 課長代理 (文化財担当)</p>	<p>よろしいですか。 ほかにいかがでしょうか。 教育研究発表についてなのですが、昨年度、保護者の方が何人か参加されたのですが、「日ごろ見れない先生の姿を見て非常によかった」という声を聞いたもので、ぜひ今年も、PTAを通してでよろしいですから、保護者の方にもお声がけをしていただければと思うのですが。 はい。P連を通して。 よろしく申し上げます。 ほかにどうでしょうか。 先ほどの飯田委員からのご質問ですけれども、生徒について言えば、秦野市が35名、中井町が9名、大井町が7名、松田町が8名、二宮町が7名、清川村が10名、生徒だけで合わせて76名になっております。それに大人のスタッフが21名加わりまして、洋上サミットのスタッフも入りまして、合計で115名ということになっております。</p>
<p>望月委員長 生涯学習課 課長代理 (文化財担当)</p>	<p>以上でございます。 100人を超えているんですね。 はい。</p>
飯田委員 教育長	<p>今年の定員は80人でしたか。 もともと子どもたちだけで100名でやっぴまして、広域連</p>

携になってからは、秦野が50、ほかの市町で50という形なんですね。ちょうどこの時期は、毎年、中体連だとかさまざまな行事が重なっている時期で、子どもたちの参加が少ない時期でもあったもので今のような広域という形になっているのですが、それにプラス、今回の場合には、サミットで首長のほかに関係する職員まで一緒に行きますので、サミットの関係が全体で30ぐらいになるのかな、トータルすると。そういう関係で、全体として、東海大学の船の乗船定数といいますか枠がありますので、その範囲内におさめるような努力をしたということです。

内田委員  
望月委員長  
飯田委員

120ぐらいじゃないかと思います、本当にいっぱい。  
ほかにどうですか。

今の件で、前回もお話ししたと思うのですが、ほかの市町村は枠が少ないじゃないですか。秦野が少ない場合にはそっこのほうに回すということも、前はそういうやり方を。

教育長

例えば、ほかの市町では10人という枠でやっているのですが、今回の場合は少ないところもありますけど、「いや、もっと出たいんだよ」というときに、秦野が少なかった場合に、秦野の分をほかのところということもやっています。今回の場合には、秦野が当初35というのが36になったんですね。ほかのところが減った分を増やしたりしていますので。その調整は同じようにやっています。

飯田委員

県Pの中でもこの話題が出まして、少ないところに行ってもらえればと。

教育長

実は、今、小田原はやめてしまったんですけど、小田原は、以前、晴海の埠頭から客船でやっていた時期があるんです。それは費用がもっと膨大にかかるのですが、船を使ってというのは特に1市とか1町で単独で開催ということが非常に難しいということです。たまたま秦野の場合には条件的に、東海大学があつて、船をお持ちになっているからそういう形でできるということで、ほかのところもやりたいというところがあるのかもしれませんが。ただ、あとは東海大学のほうの日程上の都合が、そのところに入れるかどうかという問題があるものですから。なるべく幅広くということは、市長が広域連携でやるという考え方を示されたときに、議会の中、あるいは行革の中では廃止しろという話もあった。だけれども、続けていくという結論を出していますので。

望月委員長  
内田委員

東海大学ではこの船をどんなふうに活用しているんですか。  
練習船と海洋調査船、いろいろな側面を持っていて、ほとんどは学生の実習目的に使うことが多いのですけれども、船員さんの



望月委員長  
内田委員  
望月委員長

教育指導課長

労働条件としても、年間の航海日数が限られているんです。半分弱ぐらいじゃないかと思えますけれども、百数十日とかに限られていまして、その中でいろいろなプログラムを入れ込んでいくということで、毎年、日程調整がかなり厳しいところの中で動かしているというような状況かと思えます。

フルに稼働しているわけですね、一年間。

そうですね。

ほかにどうでしょうか。

夏休みは、今、教育長報告のほうにありましたように、いろいろ、学校教育の研修会、あるいは、生涯学習、社会教育等の行事もたくさんあるわけですが、教育委員さん、時間を割いていただいて、また参加していただければと思います。

教育研究発表会は、具体的にまた数値は報告いただけますか。よろしくどうぞお願いいたします。

「その他」に入りますが、「(1) 要望書について」、お願いします。

それでは、「その他」の資料をご覧ください。

中学校で使用する教科用図書採択に関しまして、要望書が2通、それから要請書が1通届いておりますので、報告いたします。

資料の順にいきますと、まずは、秦野市桜町に在住の石川様より、「教科書採択における、平成27年6月22日付秦野市議会意見表明決議（平27陳情第5号趣旨採択）の尊重と自由社の中学校歴史教科書の採択を求める要望書」、それが1通目でございます。

2通目は、日本出版労働組合連合会中央執行委員長様より、「公正で開かれた教科書採択を求める要望書」、こちらが2通目でございます。

3通目、こちらは、アジアの平和と歴史教育連帯という団体様からいただいた「教科書検定・採択の基準に国連の教育指針を適用することの要請」という要請書が届いております。

3通届いておりますことを報告させていただきたいと思えます。

あわせて、「その他」の「(2) 教科書展示会アンケートについて」でございます。

神奈川県教科書センターとして、秦野市立図書館で、6月19日から20日、6月30日から7月12日の合計14日間で教科書展示会を開催いたしました。来館者数は延べ153名になります。展示会場で任意に提出いただいた感想等が約40通ござい

望月委員長  
生涯学習課  
課長代理  
(文化財担当)

ました。こちらのファイルにまとめておりますので、ご覧いただくことができるように、この後、教育長室に置かせていただきますので、ご承知いただければというふうに思います。

以上です。

次、お願いします。

生涯学習課が実施する3事業の募集についてご説明いたします。

まず、「その他」の「(3)第6回親子川柳大会作品募集について」ですけれども、この大会は、家族のきずなを深めることを目的に、家庭での日常的な出来事などを表現した川柳作品を、市内在住在学の小中学生と保護者の方から募集します。作品は親子などが2人1組で初句と返句の2つの句を1点として作成するもので、昨年は1,059点の応募がありました。実行委員会で入選作品を選定し、表彰式は11月14日に文化会館で開催しますが、入選作品は、作品集に掲載するほか、公民館での巡回展示を通じて紹介していきます。

次に、「その他」の「(4)第33回子どもの市展作品募集について」ですけれども、これも、市内在住在学の小中学生を対象に、美術、書道、報徳、写真の4部門の作品を募集します。応募作品は、10月1日から4日までで、文化会館展示室で全ての作品を展示します。

最後に、「第42回親と子の音楽会の出演者募集について」ですけれども、今年は12月13日に文化会館大ホールで開催します。現在、出演団体の募集を行っております。参加資格は市内で活動する幼稚園児から高校生までの音楽グループなどで、昨年度は、西中学校吹奏楽部や南が丘小合唱部など、13団体350人が出演いたしました。

生涯学習課からの説明は以上でございます。

図書館長

それでは、「その他」の「(6)第29回夕暮記念こども短歌大会作品募集について」、ご説明いたします。資料、その他(5)になります。

今年で29回目を迎えます夕暮記念こども短歌大会の作品につきましては、秦野で生まれました前田夕暮の業績をたたえるということで、市内在住の小学校4年生から中学校3年生までの児童生徒、また、秦野市在住で市外の小学校、中学校に通われている児童生徒を対象に作品を募集いたします。今年度の各作品は1人1首ということで募集いたします。作品のテーマは自由で募集いたします。

市内の小中学校につきましては、既に学校を通じまして募集を依頼しております。また、秦野市外等の小中学校児童生徒につきましては、8月1日の広報等、またはホームページ等で募集をいたします。締め切りは9月16日で、作品の表彰式につきましては、今年の12月19日、土曜日を予定しております。また、選者には村岡嘉子先生にお願いしております。

なお、裏面になりますが、応募状況、昨年度は2,337首、25年度は2,935首、24年度は2,346首集まっております。

図書館からは以上でございます。

望月委員長

それでは、(1)から(6)まで、ご質問、ご意見ございますか。

夕暮記念こども短歌大会ですが、対象者が市内の小中学生、それから市外。

図書館長  
望月委員長  
図書館長

市外の小中に通っている市内の児童生徒でございます。

市外在学の児童生徒、これはどういう意味ですか。

公立の小中学校に通われている児童生徒の方以外に、秦野市に在住して、例えば市外の白百合学園であるとか、桐蔭の小中学校に通われているとか、そういう方もいますので、その方についてははがき等での募集をすることになります。

望月委員長

そうすると、対象児童生徒への周知は、「広報はだの」とかそういうようなところで周知するという理解でよろしいですか。

図書館長  
望月委員長

そのとおりです。

市内の小中は、このパンフレットを配布して応募を求めるということですね。

図書館長  
望月委員長

はい。

わかりました。

ほかにどうでしょうか。

—特になし—

望月委員長

それでは、次回の日程調整をお願いします。

—次回の日程調整—

望月委員長

以上で7月の定例教育委員会会議は終わります。